

学校と他施設が複合化した場合の効果について

①施設機能の共有化による学習環境の高機能化・多機能化

複合化により、単独の学校として整備するよりも施設機能の高機能化・多機能化を図ることができ、児童生徒や地域住民に多様な学習環境を創出するとともに、公共施設を有効的に活用することができる。

②児童生徒と施設利用者との交流

学校施設と他の公共施設等が併設されているという特徴を生かし、交流の機会を設けたり、日常的に互いの施設での活動等を目にしたりすることで、児童生徒と地域住民などの施設利用者との交流を深めることができる。

③地域における生涯学習やコミュニティの拠点の形成

学校施設と社会教育施設等との複合施設では、児童生徒の学びの場としてだけでなく、地域にとっても生涯学習の場となるとともに、伝統文化や行事の継承などを通して、地域のコミュニティの形成にも寄与することができる。

④専門性のある人材や地域住民との連携による学校運営への支援

様々な人材が集まるという特徴を生かし、学校の教育活動や課外活動などに専門性のある人材を活用したり、地域住民の協力を促したりすることで、児童生徒により高度な専門知識に触れる機会を創出したり、学校運営への支援が行われたりすることが期待できる。

⑤効果的・効率的な施設整備

学校施設や公共施設等をそれぞれ単体で整備するよりも、複数の公共施設等を複合施設として一体的に整備したり、既存学校施設を活用したりすることにより、域内全体の整備費用の削減や支出の平準化を図ることができる。

～文部科学省報告書『学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～』より抜粋～

【パターン①】西宮中学校における図書館との複合化の効果

■西宮中学校と宮前図書館を複合化した場合の効果

<学校>

○教育環境の向上

【例】図書館の豊富な資料を生徒・教師が利用できる

【例】生徒・教員への図書館職員によるレファレンスサービスの実施

<図書館>

○長期休館を伴わない図書館の改築

○読書離れが進む中学生への読書促進

○中学生による図書館利用者への読書啓発

○体育館や多目的室等、学校ならではの諸室の共用

<公共施設マネジメント>

○施設の共用によるサービスの維持

○宮前図書館の跡地活用

・地域の利用に資する施設の整備に活用

・周辺施設の老朽化対応のために活用

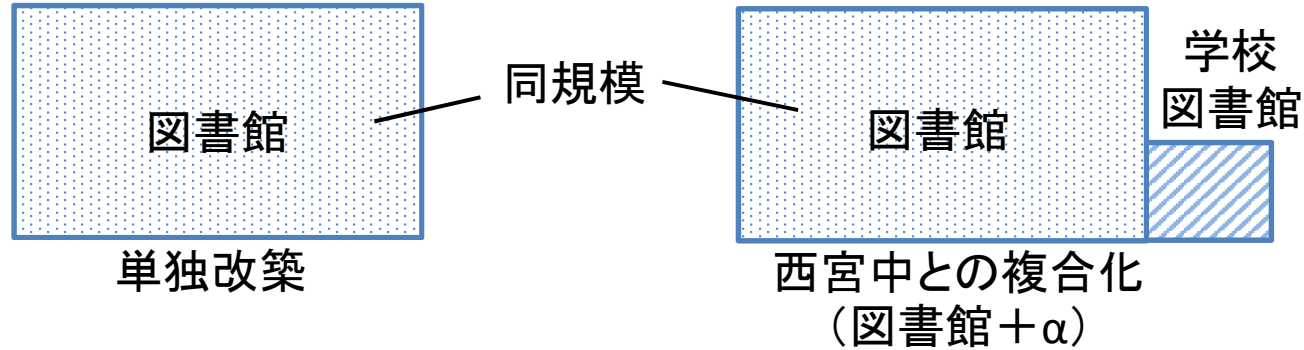
○施設の改築にかかる費用の抑制

・長期休館中の蔵書等の移設・保管にかかるコストの抑制

■西宮中学校と宮前図書館を複合化した場合の効果

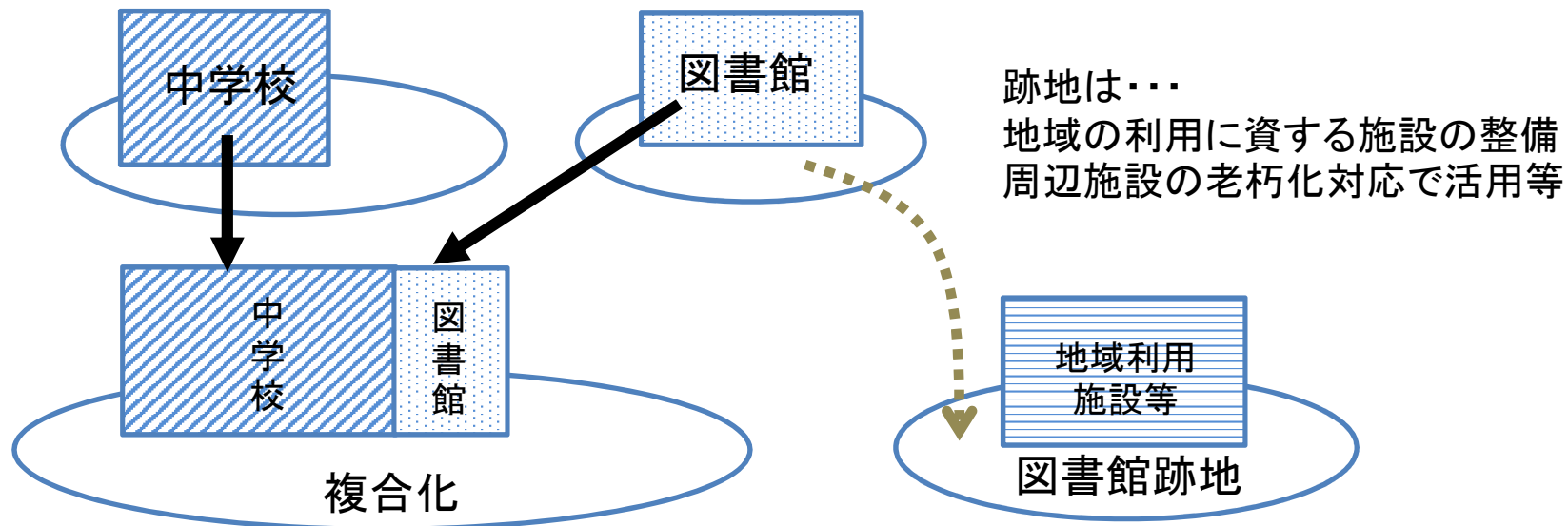
<公共施設マネジメント>

○施設の共用によるサービスの維持



- ・図書館利用者が多くなる土日祝日や長期休みには学校図書館の閲覧スペースを一般利用者に開放することで、単独改築の場合と比べて閲覧席の増席を図ることが可能となる
 - ・学校の諸室についても授業や部活・会議等で使用しない時間帯に、図書館の事業実施場所として利用することで、既存の図書館のスペースでは対応が困難なイベント・事業の実施が可能となる
- ※スペースの共用には学校と図書館相互の連携・協力が不可欠

○跡地の有効活用



【パターン②】西宮中学校における集会施設との複合化の効果

■西宮中学校と宮前図書館を複合化した場合の効果

<学校>

○人的資源の活用による学校運営を支援できる可能性

【例】集会施設には、様々な人々、団体が集まるため、その方たちが持つ専門的な知識や特技を学校運営に活かすことができる(学習支援活動や部活動指導等)

※実施に当たっては、ボランティアを受け入れる学校とボランティア活動を行う利用者の連携・協力が不可欠

<集会施設>

○学校施設と複合化することで単独施設として整備する際は設置することのない種類の部屋を使用できる可能性

【例】学校の特別教室(音楽室や家庭科室)を授業や部活等で使用しない時間帯に集会施設の利用者が利用

※スペースの共用には学校と集会施設相互の連携・協力、設計上の工夫が不可欠

<公共施設マネジメント>

○学校施設と集会施設で部屋を共用することで、より効率的に施設を活用することができる

【例】学校の教室(特別教室や体育館)を授業や部活、会議等で使用しない時間帯に活用することは、施設の更なる活用につながる

【パターン③】図書館と集会施設の複合化の効果(1)

<集会施設・図書館>

○複合施設の特徴を生かし、集会施設の多目的室等を活用して図書館の講座や映画会等を実施することが可能

○ラウンジ等でも図書館の資料を利用して調べ学習や読書が可能

→相互に施設の魅力を高めることができる

<公共施設マネジメント>

○トイレや通路、諸室を共用することで、施設整備費や維持管理費を削減

【例】施設を単独で整備すると、それぞれの施設で出入口や廊下、階段、トイレ等が必要になるが、複合化する施設の種別によっては、出入口やトイレ等を共用することができ、延床面積の縮小につながる。また運用を工夫することで部屋の共用も可能となれば、さらに延床面積を縮小できる可能性もある。光熱水費、清掃費、修繕費などの建物の維持管理費は建物の面積が大きくなると経費も大きくなるので延床面積を減らすことは、維持管理費の抑制にもつながる。

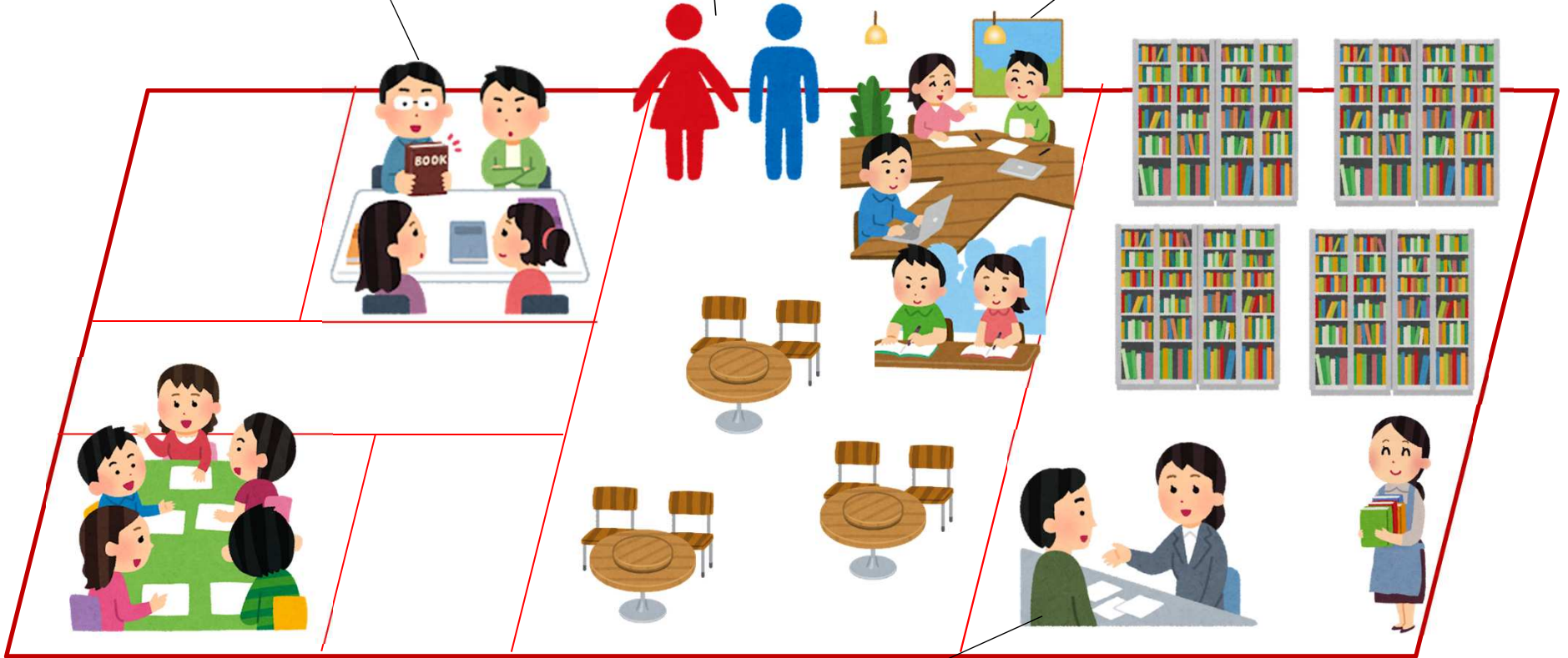
【パターン③】図書館と集会施設の複合化の効果(2)

図書館と集会施設の複合化イメージ

- ・集会施設の諸室で図書館の事業を実施(企画の幅が広がる)
- ・集会室等を共用することで稼働率の向上を図る

・トイレや出入口等の共用

- ・集会施設のラウンジを図書閲覧スペースとしても活用
- ・利用者は、静かな空間の図書館と本を読みながらおしゃべりも楽しむこともできるラウンジとでその時々用途によって使い分けが可能
- ・集会施設を利用したついでに図書館を利用する等、本に親しむきっかけになる



集会施設部分

・窓口を共用

図書館部分